

災害に強いまちをめざして

令和4年度日野町消防団入退団・昇任式を開催

4月2日(土)、日野消防署において、令和4年度日野町消防団入退団・昇任式が行われ、退団者18名、入団者18名、団旗手1名の辞令交付、感謝状授与等が厳粛に行われました。

新入団員を代表し、野口裕治さん(増田)が消防業務の遂行を宣誓されました。



新入団員の皆さんは入退団式終了後、日野消防署で基礎訓練を受講されました。これから団員の皆さんは昼夜を問わず発生する火災や各種災害から、家族や地域住民の生命・財産を守るため活躍いただきます。

どうぞよろしくお願いします。



地域おこし協力隊

活動記

町では、令和3年度から3名の地域おこし協力隊が「関係人口の創出と拡大」「移住・定住の促進」に取り組んでいます。このコーナーでは、隊員の活動や思いを紹介します。今月は、吉海(よしかい)星来(せいはら)さんです。



私がシェアハウスをして住んでいる旧辰巳屋で「DIY(日曜大工)イベント」がスタートしました。

きっかけは、旧辰巳屋を綺麗にする作業を行った中で、「空き家を綺麗にする・改装する」という部分もすごく貴重な体験であると感じ、もう少し多くの人を巻き込みたいと思い企画しました。

DIYイベントは、2月12日(土)・13日(日)、3月20日(日)・21日(月・祝)に開催しました。広島からDIYコーディネーターを招き、DIYを通じた場づくりを教えていただきました。今回は、和室の畳をフローリングに変える作業や、店舗部分の壁を木の壁にして温かみのある色に塗装しました。イベントには、町内の方が7名、関西圏の大学生などが12名参加してくださいました。また、近所の方も様子を見に来てくださるなど、町内外の方が交流する良いきっかけとなりました。

ありがたいことに「辰巳屋さん何になるの?」と聞かれる機会が多くなったのですが、どのような場所になるかはあえて決めていません。今回のようなイベントを通じて関わっていく人達や、関心を寄せてくださる地域の方々と、一緒に考えていけたらと思っています。



◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-5216552

西大路小6年生 「将来のふるさと」 プレゼンテーション

3月7日(月)、西大路小学校の6年生が、町議会議員や役場職員などに向けて「将来のふるさと」の発表を行いました。

議場を会場とし、グループごとに調べたことをスライドにまとめ、日野町の「イベント」「少子高齢化」「子育て」「空き家」「交通」などについて、アンケート調査の結果や他の自治体の事例を紹介しながら自分達の意見を発表しました。はじめは少し緊張していた児童達でしたが、自分達の順番になると堂々と伝えたいことを言えた様子でした。

発表を聞き、町長は「良いところに気づくと感じました。今回の発表を今後の参考にさせていただきます」と感想を述べました。



まちの未来を
考える



産官学連携インターンシップ 滋賀農業公園ブルームの丘× 日野町×立命館大学

3月20日(日)、滋賀農業公園ブルームの丘で立命館大学食マネジメント学部(学部の学生がブルームの丘と連携して開発した商品の発表イベント)が開催されました。

ブルームの丘で飼育しているジャージー牛の牛乳を使用した商品や町内の農家の方が栽培した小麦を使用したパン、写真映えする「たいやきジャージーソフトクリーム」などの新商品がお披露目されました。

また21日(月・祝)には、日野町伝統料理を継承する会と連携して開発された、日野菜や地域で採れる旬の野菜をふんだんに使用したてまり「近江ひのてまり」の販売が行われました(当日限定販売)。

開発された商品はブルームの丘で販売されています。皆さんも学生が考案した魅力的な商品を一度お試しください。



食を通じたコラボレーション



料理を通して国際交流 「日野の味覚市」で 外国の料理を販売

3月27日(日)、日野まちかど感応館で開かれた「日野の味覚市」で、国際交流を目的に日野町国際親善協会が町内に住むミャンマー・ブラジル国籍の方と一緒に外国の料理を販売されました。

当日は、ミャンマーのお菓子「モン・ペ・ト」やブラジルの惣菜パンなどを販売され、商品が午前中で完売するなど、大盛況となりました。

販売されたミャンマー・ブラジル国籍の方は、買い物に来られた地域の方と写真を撮ったり、外国の料理の食べ方をお話するなどさまざまな方と交流され、「コロナ禍で交流ができない中、たくさんの方と話することができてとても楽しかったです」「今後もこのような交流を続けていきたい」と話されました。

おいしい料理を
召し上がれ

